

学校だより

しらかば



第4号

令和8年 6月30日
西興部中学校

「やりきる、その先に」

校長 川合 伸幸

野球部の3年生にとって、7月の大会が最後の舞台となります。今年は他校の仲間と合同チームを組み、力を合わせて夏に臨みます。慣れ親しんだ顔ぶれだけでなく、新しい仲間とともに同じユニフォームを着て戦う——それもまた、得がたい経験になるはずです。レクリエーション部や吹奏楽部の3年生も、2学期の終わりまで、それぞれの場で活動が続けていきます。

子どもたちは一つのことに真剣に向き合い、うまくいかない日も、思うようにならず悔しい思いをした日もあったことでしょう。それでも続けてきたのは、その活動が好きだから、そして一緒にがんばる仲間がいたからかもしれません。最後までやりきろうとするその姿は、それだけで尊いものだと感じています。

その歩みを、そばで支えてきたのが部活動の指導にあたる教師です。一人一人の伸びを願い、時に励まし、時にともに悩みながら、放課後はもちろん、時には週末の時間も子どもたちと重ねてきました。声をかけ、背中を押し、うまくいったときには誰よりも喜ぶ——そうした日々の関わりが、子どもたちの「もう少しがんばってみよう」という気持ちを静かに育てています。子どもの成長の陰には、いつもそれを願う大人のまなざしがあります。

とりわけ3年生は、先輩から受け継いだものを、今度は自分たちが後輩へと手渡していく立場にあります。技術やルールだけではありません。あいさつの仕方、仲間を思いやる気持ち、苦しい場面で踏ん張る粘り強さ——言葉にならない多くのものが、日々の活動の中で静かに受け継がれていきます。下級生は3年生の姿を間近に見ながら、自分の役割を少しずつ見つけていきます。こうした目に見えないバトンの受け渡しこそ、部活動が子どもたちにもたらす、かけがえのない財産なのだと思います。

野球部の最後の大会は、7月19日（日）、紋別球場で初戦を迎えます。これまで重ねてきた一日一日が、ここで一つの形になります。勝ち負けはもちろん大切ですが、それ以上に、最後まであきらめずにプレーするその姿を、子ども自身の記憶に、そして見守る私たちの心に、しっかりと刻みたいと思います。

一つの区切りは、終わりであると同時に、次への出発点でもあります。3年生がやりきった先に、下級生が新たな一步を踏み出していく——その循環を支え、一人一人の挑戦を、そして子どもを支える教師の歩みを、最後まで見届ける学校でありたいと、あらためて心に刻んでいます。

記録より記憶に残る素晴らしい運動会～たくさんの応援ありがとうございました！

延期となり日曜日の開催でしたが、生徒たちは当日を迎えるまで準備や練習を重ね、それぞれが自分の役割に責任をもって取り組んできました。競技だけではなく、係活動や応援活動においても活躍が目立ちました。自分たちで考えながら行動する姿はたいへん頼もしく、学校を支える先輩としての成長を感じました。運動会の成功はもちろんですが、そこに至るまでの準備や話し合い、練習の積み重ねこそが大きな財産です。今後も期待しています。

授業にお邪魔します！！
～西中の授業の紹介・音楽編～

私たちの身の回りには意識しているものから気づかないものまで多くの音であふれています。その音を集めて音楽を作る。それは民族や時代によっても変わるし、奏でる楽器の質感によっても変わります。音楽の素材としての「音」の質感を生徒が「感性」を働かせて感じ取る。今まさにその「音」を楽しんでいる瞬間ではないでしょうか。

7月 行事予定

1日（水）	職員会議
2日（木）	全校集会
3日（金）	参観日
7日（火）	水泳授業
8日（水）	研修日
13日（月）	水泳授業
14日（火）	スクールカウンセラー事業 戦没者追悼式典
15日（水）	委員会
16日（木）	水泳授業
17日（金）	給食講話
18日（土）	全日本少年軟式野球大会 北海道大会（初戦19日）
21日（火）	旭川医大フロンティア講座
22日（水）	大掃除
23日（木）	終業式
24日（金）	夏季休業開始
27日（月）	海外体験学習事業

いよいよNHK「30DAYS」が放映されます。

「NHK30DAYS～シカが人より多い村 西興部編」。ディレクターさん（長谷川さん）が1か月西興部村に滞在して取材を行ってきました。もうすでにご存じの方も多いかと思いますが、いよいよ放映日も決まりました。

7月3日（金）夜7：30（19：30）放映
（再放送は8月1日（土）午前10：05）

中学校だけではなく、村の魅力のすべてを詰め込んだ内容を見るのが今から他の楽しみです。

